

# クローズアップ インタビュー

旭日双光章受章者

板倉良平氏 (77歳)



## 主な経歴

昭和58年4月～平成2年10月 高浜市議会議員  
昭和63年5月～平成元年5月 高浜市議会議長  
平成7年4月～平成15年4月 高浜市議会議員  
平成17年3月～平成23年5月

高浜南部まちづくり協議会理事長

平成26年春の叙勲の発表があり、板倉良平さん(田戸町在住)が、旭日双光章を受章されました。受章の喜びなどについてお聞きしました。

## ✿ 受章の感想

「高浜市を住みやすいまちにしたい」という一心で、市議会議員と高浜南部まちづくり協議会など地方自治の分野に、足かけ30年以上もの長きにわたりかかわらせていただきました。多くの市民の皆様のご支援・ご協力があってからこそ、旭日双光章という素晴らしい章を受章できたと思っています。こんなに幸せなことはありません。

## ✿ 市議会議員として

ほぼ10年ごとに、人生の転換期が訪れました。初めの転換期は、大学の工学部土木工学科を卒業後、建設会社に勤務していましたが、父の病気により、家業の瓦製造業を継ぐよう、高浜市に呼び戻されたことでした。

次の転換期は、瓦製造業に携わり始めて約10年が過ぎたころ。駐在員を務めていたとき、地域の方から「大学での勉強や会社での経験を活かし、議員として市役所と協力しながらまちづくりに取り組んではどうか。」と勧められ、議員への出馬を決心しました。

約16年間、議員を務めさせていただきました。任期中は主にハード面のまちづくりに尽力させていただきました。市道研屋線や市道港線といった道路整備事業に道筋をつけることができました。

## ✿ 議員を引退してから

議員引退後は、高浜市構造改革推進検討委員会の委員として、高浜市が持続可能な自立した基礎自治体として生き抜くためにはどう

したらよいか、大学の先生や市役所の職員、市民の皆さんといっしょに方策を検討しました。

ほぼ同時期に高浜南部まちづくり協議会の立ち上げにかかわり、初代理事長を務めさせていただきました。チャレンジ度が運営に携わる喫茶店・パン工房の支援といった、他の小学校区にはない事業にも取り組むなど、地域の強みを活かしたソフト面のまちづくりに尽力してまいりました。また、自治基本条例の策定にも携わりました。

## ✿ これからのまちづくりに向けて

理事長退任後は、考える力を身につけた子どもを育てることに取り組みたいと考えていましたが、体調面から思うように進んでいません。この志を地域で引き継いでもらえたらと思います。

まちづくり協議会の立ち上げから約10年。市全体に「自分たちのまちは、自分たちでつくる。」という考え方が、浸透してきたように感じています。今後とも、少しでも若い人たちの力になれたらと考えています。